

・令和3年度 自己評価・学校関係者評価 報告書①

岐阜県立池田高等学校

学校番号	20
------	----

I 自己評価

1 学校教育目標	校訓「向学・友愛・錬磨」の下、明るく規律ある学校生活を通して、「知・徳・体」の調和のとれた人間性豊かな、心身ともに健全な人間形成を期すとともに、持続可能な社会の発展に貢献できる人間の育成に努める。		
2 評価する領域・分野	◇学校経営		
3 現状・生徒及び保護者等を対象とするアンケートの結果分析等	池田高校は、岐阜県西濃北部に位置し、近隣市町村から通学する生徒が中心の地域社会性の強い高校である。令和4年度からは、生徒の多様な進路希望に対応できる単位制普通科高校となる。そこで、ESD・SDGsと関連させた「探究活動」を中心とした新教育課程の実現に向けて、ユネスコスクールとしての活動に加え、近隣の地域社会・教育機関と連携した活動を強化し、生徒の多角的な成長を促す高等学校づくりを推進している。 生徒・保護者対象のアンケート（7月実施）では、多くの生徒が、本校は安心・安全な学校であると評価している。さらに、「総合的な探究の時間」への評価が高いことから、「探究活動」を中心においた新教育課程編成に向けて、着実に準備が進んでいると考える。また、多くの保護者が、本校の進路実現に向けての課外的な学習支援に対して、高い評価をしている。これは単位制の学校設定科目「特講」の充実に向けての、強力な後押しとなっている。		
4 今年度の具体的かつ明確な重点目標	◇新しい視点での分掌・学年業務の見直しと改善を図ることで、分掌と学年が密接に連携・協力しあう体制を構築し、地域、保護者から期待される学校づくりに努める。		
5 重点目標を達成するための校内における組織体制	<ul style="list-style-type: none"> <li>部主任会議、企画委員会、各種委員会及び職員会議</li> </ul>		
6 目標の達成に必要な具体的な取組	7 達成度の判断・判定基準あるいは指標		
(1) SDGsと関連させた「探究活動」を中心に、個別最適化と協働を併用した授業、外部人材や地域の資源を積極的に活用した特別活動、持続可能な社会の造り手を育てる進路学習を有機的に結びつけた、生徒の成長を促すカリキュラム・マネジメントを実践する。 (2) ICT化、システム化による時間と労力の削減を生み出すなかで、個々の教員が大幅な校内組織の改編の意図を酌んだ、生徒の変容につながる積極的な指導に挑戦し、その挑戦を支える連携・協力体制を強化する。	①生徒及び保護者等を対象とするアンケートのすべての項目において、肯定的な評価80%以上。 ②高等学校入学者第一次選抜段階での定員確保。 ③教職員のストレスチェックにおける「高ストレス者」0人、ハラスメント調査における事案0件。		
8 取組状況・実践内容等	9 評価視点	10 評価	
(1) に関して ・機会あるごとに学校長が職員に対してビジョンを説明する機会を設け、「ユネスコスクール」「SDGs」「探究活動」が共通言語となる体制づくりに努めた。 ・単位制改編や新教育課程編成を進めるうえで、本校のビジョンへの共通理解をはかるために、生徒・保護者・職員・地域の方の意見を取り入れて、「スクール・ポリシー」を策定した。 ・SDGsと関連させた授業や「総合的な探究の時間」に取り組めるよう、授業目標や活動目標として提示できるマグネットシートを	①本校の取組を肯定的に評価しているか。 ②生徒・保護者・職員・地域の方と協働して、「スクール・ポリシー」を策定することができたか。	A B C D A B C D	

<p>作成した。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・単位制への改編を受けて、個別最適化に根差した習熟度別授業や学校設定科目での協働学習、生徒の主体性を重視する観点別評価の研究を組織的に進めるために、教科を超えた3人グループによる互見授業と授業研究会を実施した。</li> <li>・生徒の成長を促す計画的な特別活動や進路学習の仕組・仕掛を生み出すために、事前・事後学習や座談会を取り入れた各種講演会、放送を活用した積極的なボランティア案内、未知のコンクールへの挑戦などに力を入れた。</li> </ul> <p>(2) に関して</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・懸案事項の確認、原案の練り上げ、業務改善を進めるために、定期的に部主任会議を実施した。</li> <li>・時間外勤務の削減に向けて、交通指導当番業務の縮小、Formsよるアンケート業務の推進、会議の短縮を実現した。</li> <li>・休養室の設置、執務室の整理整頓、トイレ清掃など、校内の環境美化に努めた。</li> </ul>	<p>③単位制の準備を組織的に進めることができたか。</p> <p>④各種講演会や生徒の自主的な活動を活発化することができたか。</p> <p>⑤部主任会議が効果的に機能したか。</p> <p>⑥高ストレス者を出していないか。</p> <p>⑦職場環境の改善が進んでいるか。</p>	<p>A <input type="checkbox"/> B <input type="checkbox"/> C <input type="checkbox"/> D <input type="checkbox"/></p> <p>A <input type="checkbox"/> B <input type="checkbox"/> C <input type="checkbox"/> D <input type="checkbox"/></p> <p>A <input type="checkbox"/> B <input type="checkbox"/> C <input type="checkbox"/> D <input type="checkbox"/></p> <p>A <input type="checkbox"/> B <input type="checkbox"/> C <input type="checkbox"/> D <input type="checkbox"/></p> <p>A <input type="checkbox"/> B <input type="checkbox"/> C <input type="checkbox"/> D <input type="checkbox"/></p>
--	---	--

<p>11 成 果 ・ 課 題</p>	<p>(成果)</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>○ 単位制への改編の意図や新教育課程のねらいを共通理解し、組織的な授業改善や全校体制での生徒指導に取り組むなど、「力のある学校」を目指して、生徒への期待に満ちた風土、教授活動に対する促進的な風土づくりに着手できた。</li> <li>○ 時間と労力を削減する働き方改革、整理・整頓・清掃といった改善活動を進めることができた。</li> <li>▲生徒の変容につながる積極的な指導に挑戦しきっていない。</li> <li>▲分掌や学年の構成員の協力体制がまだ弱く、ボトムアップが見られない。</li> </ul>	<p>総 合 評 価</p> <p>A <input type="checkbox"/> B <input type="checkbox"/> C <input type="checkbox"/> D <input type="checkbox"/></p>
---	--	---

<p>12 来年度に向けての改善方策</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・令和4年度は、新たに学校設定教科「地域」を立ち上げ、科目として学年を超えて選択できる①「地域社会福祉Ⅰ・Ⅱ」、②「地域環境保全」、③「国際交流」を開講する。そこで①では、福祉系の専門学校と協力した講義及びボランティア活動へ参加し、体験を通して社会貢献に対する意識を伸長する。②では、池田町教育委員会、およびハリヨを守る会との協働活動を取り入れる。③では、ニュージーランド研修に参加する生徒の英語力を伸長し、現地の文化歴史等の知識理解を深化させる。</li> <li>・総合的な探究の時間に、SDGs・ESDに関連した地域課題解決型学習を実施する。1年次ではスタディ・サプリの「探究講座」を活用して、課題発見力を身に付けさせる。2年次では、地域の課題を見つけ、解決策を大学生と一緒に検討し、提言として発信する。3年次では、1・2年次で実践したことを踏まえ、卒業研究としてまとめる。</li> <li>・生徒会の委員会として、新たにユネスコ委員会を立ち上げ、委員には環境保護活動の啓発やボランティア活動、外部への活動の発信などを担わせ、行動力のあるリーダーを養成する。</li> </ul>
--

## II 学校関係者評価

実施年月日：令和4年1月25日

<p>【意見・要望・評価等】</p> <p>○この1年、ユネスコスクールの掲げるESDへの挑戦とSDGsを結びつけた「探究活動」を教育の方針として掲げ、その実現に学校全体で組織的に取り組んできたことは高く評価できる。スクール・ポリシーの策定も同様のスタンスがみられ、池田高校の特色が、「単位制普通科→生徒の進路実現に向けた願いが生きる学びの構築」「ユネスコスクール→生徒の生き方を豊かにする目標の設定と実践」という2つの側面から明確に示されており、保護者だけでなく中学生にもわかりやすい。この目標が、同じユネスコスクールの池田中学校と共有できるとよい。組織体としての協力体制を強化し、「スクール・ポリシー」の策定による具体的な成果を生徒の姿で見せてほしい。「福祉・環境・国際」を地域で実感できる機会をいっしょにつくっていきたいと思う。</p> <p>○令和4年度から単位制になるということで、準備がしっかりできている。生徒たちにとっての将来の道幅がまた広がることを期待する。学校設定教科「地域」における「国際交流」について、新型コロナウイルスの感染拡大による影響から、少なくとも令和4年度(場合によっては令和5年度)は海外研修が実施できず、「国際交流」コースの目的や内容について若干の変更が必要である。</p>
---